

平成21年度学校保健統計調査結果の概要

学校保健統計調査（基幹統計調査）は、文部科学省が、我が国における幼児・児童および生徒の発育状態および健康状態を明らかにし、学校保健行政上の基礎資料を得るため、毎年実施しているものです。この概要は、平成21年度の滋賀県分の結果を取りまとめたものです。

主なポイント

- 1（傾向） 身長、体重および座高は、男女とも横ばいで推移しています。（図1～3）
- 2（全国との比較） 身長、座高は、男女ともほとんどの年齢で、全国平均値と同じかまたは上回り、身長では15歳女子が、全国第1位、座高では6歳男子が全国第1位になりました。一方、体重は、男女ともほとんどの年齢で、全国平均値を下回りました。（図4～6）
- 3（「親の世代」との比較） 身長、体重は、ほぼすべての年齢で「親の世代」（30年前）の県平均値を上回っています。体格差が最も開く年齢は、男子では、身長が12歳、体重が12歳と15歳で、女子は身長、体重とも12歳です。（図7・8）
- 4（主な疾病・異常） 「むし歯」の人の割合は、すべての学校種別で前年度より減少しており、すべての学校種別で減少傾向にあります。「むし歯」および「口腔咽喉頭疾患・異常」の人の割合は、すべての学校種別で全国平均値を上回り、「鼻・副鼻腔疾患」および「ぜん息」の人の割合は、すべての学校種別で全国平均値を下回ります。また、「裸眼視力1.0未満」の人の割合は、小学校・中学校・高等学校で全国平均値を下回り、特に高等学校では18.9ポイント低くなっています。（図9～15）

発育状態

1. 体格の県平均値の推移（図1～3）

体格の本県平均値の推移を見ると、身長、体重および座高は、男女とも横ばいで推移しています。

図1 身長の平均値の推移

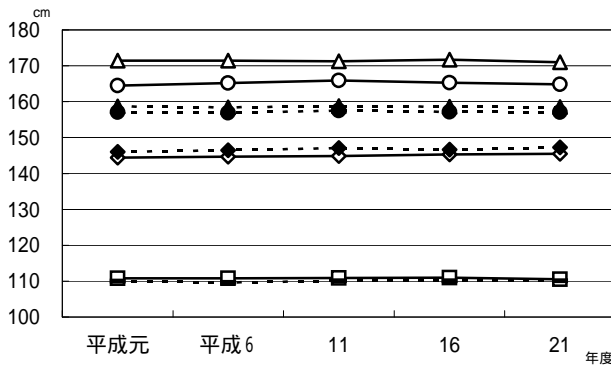


図2 体重の平均値の推移

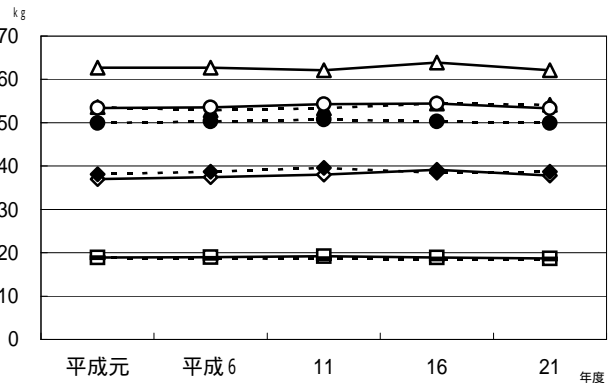
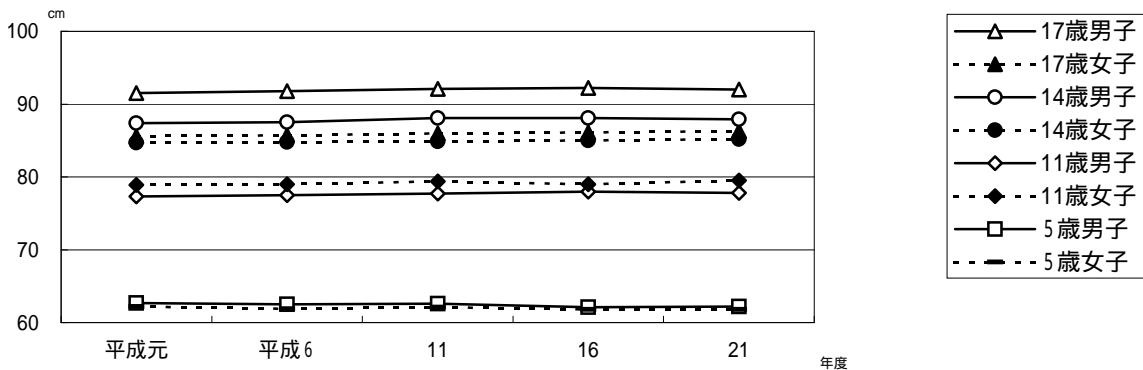


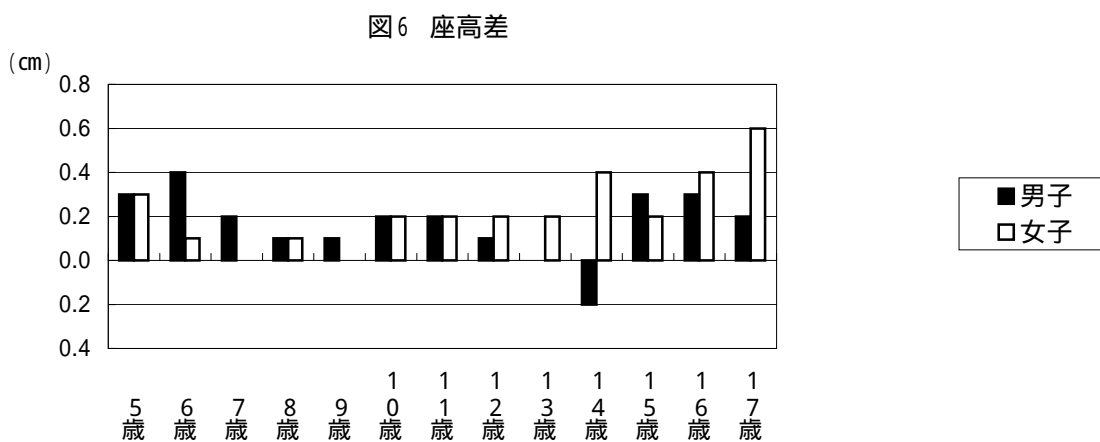
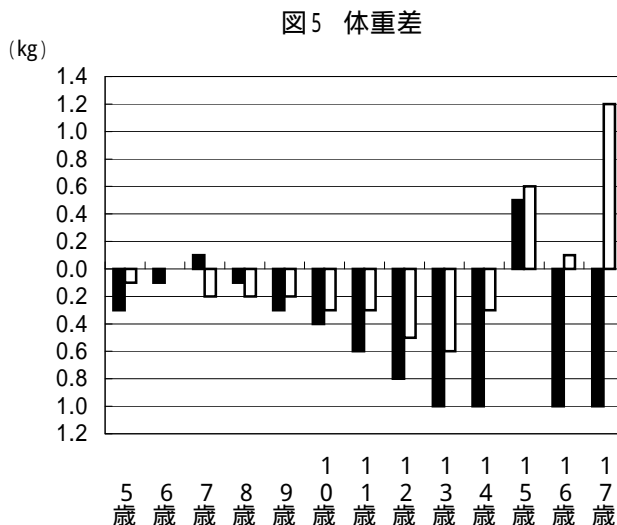
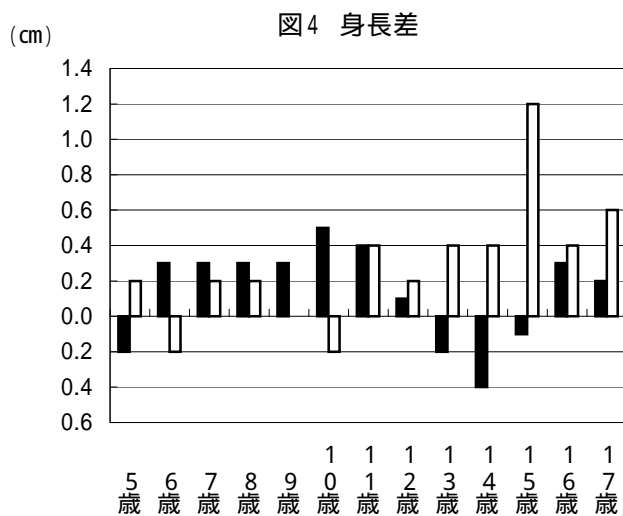
図3 座高の平均値の推移



2. 体格の全国平均値との比較 (図4～6)

体格の本県平均値を全国平均値と比較すると、身長、座高は、男女ともほとんどの年齢で全国平均値と同じかまたは上回っています。特に、15歳女子は、身長(県・158.5cm、国・157.3cm)で、全国第1位、本県の過去最高を記録し、6歳男子は座高(県・65.3cm、国64.9cm)で、全国第1位になりました。一方、体重は、男女ともほとんどの年齢で全国平均値と同じかまたは下回っています。

年齢別・男女別の滋賀県と全国平均値との差グラフ

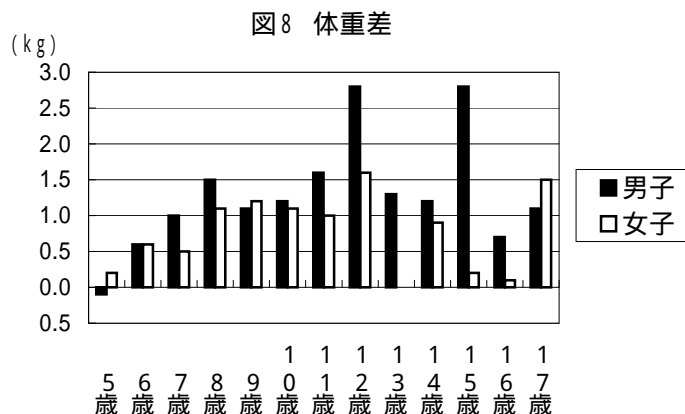
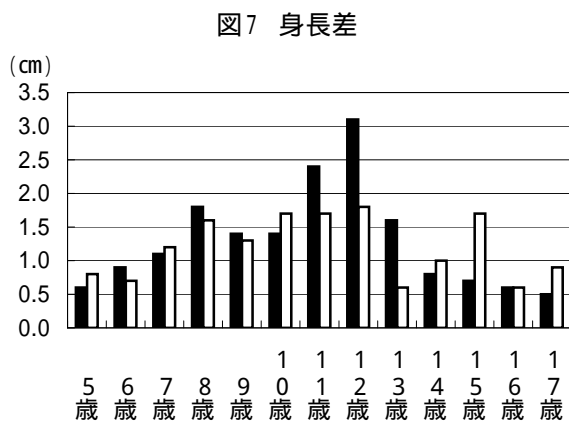


3. 30年前の昭和54年度(親の世代)の体格との比較 (図7・8)

平成21年度の調査結果を、親の世代(30年前の昭和54年度)と比較してみると、ほぼすべての年齢で平成21年度が上回っています。

このうち、30年前の体格との差が最も大きい年齢をみると、男子では身長が12歳、体重が12歳と15歳で、女子では、身長、体重とも12歳になっています。

平成21年度と昭和54年度の年齢別体格差グラフ



健康状態

1. 主な疾病・異常の被患率等（男女計）（図9～15）

主な疾病・異常の本県の今年度と前年度の割合を比較すると、「むし歯」の人の割合はすべての学校種別で前年度より減少しており、すべての学校種別で減少傾向にあります。

本県と全国の割合を比較すると、「むし歯」および「口腔咽喉頭疾患・異常」の人の割合は、すべての学校種別で全国平均値を上回り、「鼻・副鼻腔疾患」および「ぜん息」の人の割合は、すべての学校種別で全国平均値を下回ります。また、「裸眼視力1.0未満」の人の割合は小学校・中学校・高等学校で全国平均値を下回り、特に高等学校では18.9ポイント低くなっています。

図9 本年度と前年度との差(むし歯)

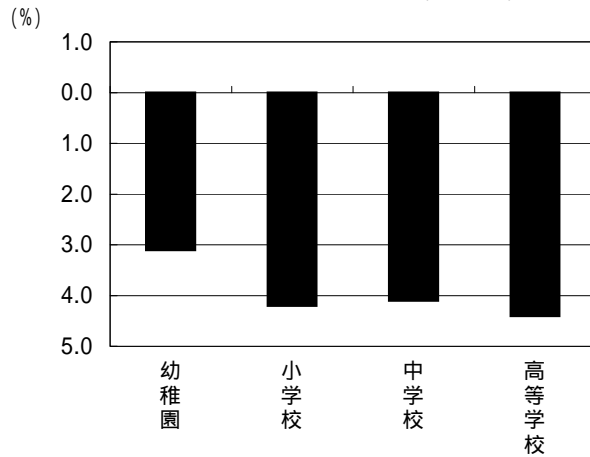


図10 むし歯(滋賀県と全国被患率の差)

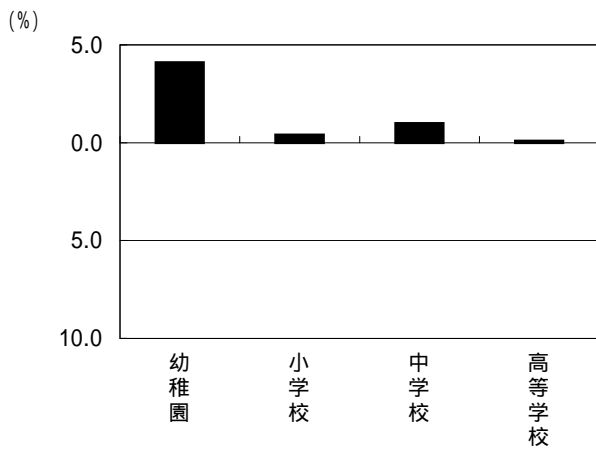


図11 むし歯の被患率(滋賀県・男女計)推移

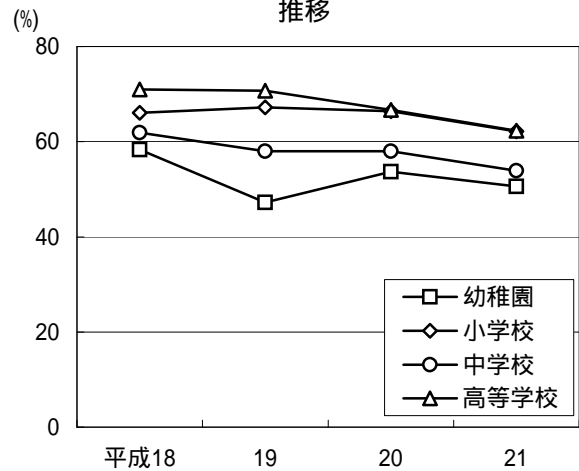


図12 口腔咽喉頭疾患・異常(滋賀県と全国被患率の差)

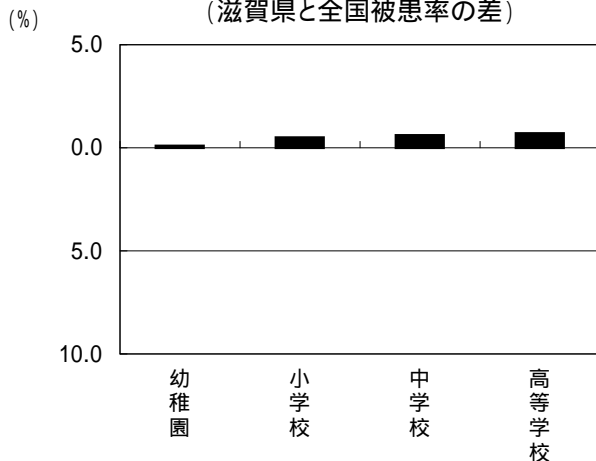
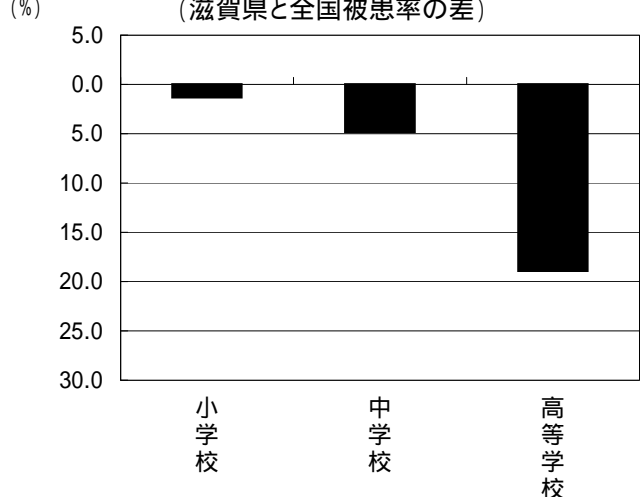


図13 裸眼視力1.0未満(滋賀県と全国被患率の差)



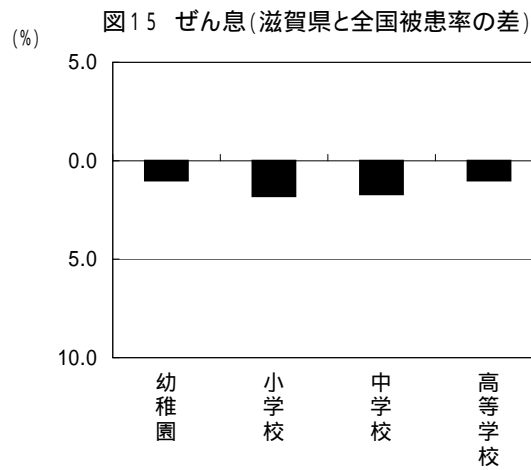
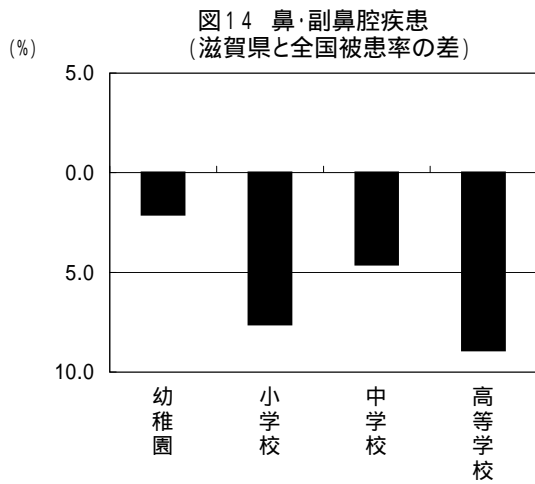


表1 年齢別・男女別体格の平均値

学校種別	学年	年齢	男子			女子		
			身長 (cm)	体重 (kg)	座高 (cm)	身長 (cm)	体重 (kg)	座高 (cm)
幼稚園		5歳	110.5	18.7	62.2	110.1	18.5	61.8
小学校	1年生	6歳	117.0	21.4	65.3	115.6	21.0	64.6
	2年生	7歳	122.9	24.2	67.9	121.9	23.3	67.3
	3年生	8歳	* 128.6	27.1	70.4	127.7	26.3	70.1
	4年生	9歳	133.9	30.3	72.8	133.5	29.8	72.7
	5年生	10歳	139.4	33.8	75.2	140.1	33.8	76.1
	6年生	11歳	* 145.5	37.8	77.8	147.3	38.7	79.5
中学校	1年生	12歳	152.6	43.4	81.4	152.1	43.3	82.3
	2年生	13歳	159.5	48.1	84.9	155.3	46.7	83.9
	3年生	14歳	164.8	53.3	87.9	157.1	49.9	85.2
高等学校	1年生	15歳	168.4	60.0	* 90.6	* 158.5	52.2	85.5
	2年生	16歳	170.2	60.3	91.5	158.1	52.9	86.0
	3年生	17歳	171.0	62.1	92.0	158.5	54.1	86.3

(注) 「*」印は、記録が残っている昭和30年度以降で、平成21年度が過去最高になったものです。

表2 滋賀県の主な疾病・異常の推移および全国平均値 (男女計)

(単位: %)

学校種別	むし歯(う歯)			口腔咽喉頭疾患・異常			裸眼視力1.0未満		
	21年度	20年度	21年度(全国)	21年度	20年度	21年度(全国)	21年度	20年度	21年度(全国)
幼稚園	50.6	53.7	46.49	2.1	3.6	1.96	x	x	24.87
小学校	62.2	66.4	61.79	2.1	3.3	1.63	28.4	25.1	29.71
中学校	53.9	58.0	52.88	1.4	1.6	0.81	47.7	x	52.54
高等学校	62.3	66.7	62.18	1.4	0.2	0.68	40.5	29.6	59.37
学校種別	鼻・副鼻腔疾患			ぜん息			(注) 「x」は、回答校(園)数が少ないため、公表していません。		
種別	21年度	20年度	21年度(全国)	21年度	20年度	21年度(全国)			
幼稚園	1.9	1.1	3.98	1.2	0.5	2.15			
小学校	5.0	7.3	12.57	2.2	2.4	3.99			
中学校	6.2	3.9	10.83	1.3	1.3	2.96			
高等学校	0.7	2.5	9.61	0.9	1.7	1.88			

*** 利用上の注意**

調査の対象

調査の範囲は、幼稚園、小学校、中学校および高等学校のうち、調査実施校(園)に指定された151校(園)に在籍する幼児(5歳児のみ)、児童および生徒を調査の対象者にしています。

なお、年齢は平成21年4月1日現在の満年齢です。